

ふれあい



第24号

平成29年3月21日
十日町市身体障がい者福祉センター

(今回の題字は桑原茂司様です)

雪のない正月…今年は小雪?と思いきや、小正月の大寒波で、一夜にして雪国と化しました。「雪が降って、体調が良くなった…」などの声を聞くと、十日町は雪があつてこそ、元気になれる町なんだと、改めて感じました。

季節の創作活動



今年の干支…酉!



ちんころ制作

毎年恒例行事となっているため、「ちんころ作りはお手の物!」とばかりに次々とかわいいちんころ達を作り上げる利用者の皆さんです。年々腕が上がってますよ!



ふれあい戦隊雪だるマン!

身障センターにかわいい雪だるま達の登場…首に巻いているカラフルなマフラーは、利用者の皆さんの手編み。通りすがりのたくさんの方が足を止めてシャッターを押していました。

十日町雪まつり参加

ひな祭り創作

利用者の皆さんからいただいた着物の生地でお花を作り、素敵な壁飾りを制作しました。細かい作業でしたが、楽しみながら作りましたよ！



毎年センターで制作した作品を大事に玄関に飾って下さっている方もいらっしゃいます。うれしいですね。

ふれあいクラブの皆さん

※月 2 回日曜日に日中一時支援として活動しています。障がい者の日中における活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練をしています。

ふれあいクラブの皆さんも、お花紙を一枚一枚広げたり、顔を書いたりと真剣に取り組み、かわいい作品ができました。



毎年、素晴らしいひな壇が登場します。

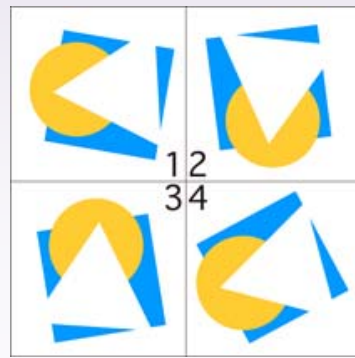
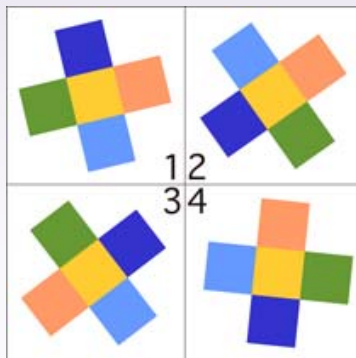
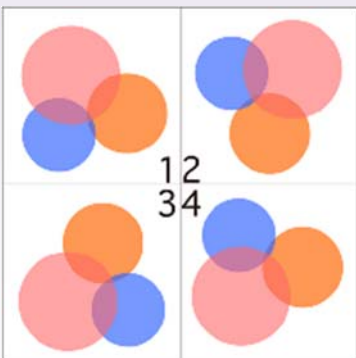


脳トレしてみましよう！ 脳を活性化させよう！

※脳トレをすることで様々な利点をもたらします。

- ・記憶力の向上
- ・ストレスに強くなる
- ・心身が健康になる
- ・毎日が充実する
- ・日々に活力が生まれる

◎4 つの中で、1 つだけ他の 3 枚と違う図形があります。どれでしょう。



今年度、村山宏さんが厚生労働大臣賞を受賞された事で、たくさんの新聞記者がセンターを訪れました。皆さんの頑張りに感動された一人の記者が「他にも頑張っている方がいらっしゃいます。」と自ら取材された記事を送って下さいましたので、紹介します。

病に負けず

突然の発病で、右手足と言葉が不自由になった魚沼市在住 60 才男性がリハビリを兼ね草花を撮り続けている。デジタルカメラで撮影された作品は、カレンダー「花暦」となり、作品は、10 作品（10 年）を迎えた。2017 年用は 2,500 部を作り、完売する人気ぶり。脳出血で倒れ、入院生活を余儀なくされた。退院後、担当医からリハビリを兼ねて散歩を薦められ、自宅周辺を歩き始めた。そんな中で目に留まったのが草花だった。足元でかわいらしく咲くも、地面には力強く根を張る。最初に引き付けられたのはフキノトウで、「これを写真に撮りたい」と思ったという。自然をこよなく愛する心が写真の心底にある。「市内で写真展を開くこともできた。これからも写真を撮り続けたい」と話した。

平成 29 年 1 月 13 日（金） 毎日新聞掲載

夢や希望を持ち、生きる喜びを！

利用者様の素敵なつぶやき…

勇気を出して…

外へ出る事で、自分の体力を試す。
そして人との出会いの場がある。

ありがとうございます！この言葉を励みにがんばります！

毎日、楽しく過ごさないと損！
もったいない！

ただ生きていく、
それだけで素晴らしい…

障がいを負った当時家族に迷惑をかけ、負い目を感じ、外に出る事ができなかったそうです。しかし、勇気を出して外へ…

職員さんの顔を見ると、元気になれる！

少し無理してでも来るよ！

障がいを持った事で、今までになかった出会いと感動がある…と、いつも前向きで明るい方です。私達も元気をもらっています。

ふれあいギャラリー

絵画教室

身障センターでは、創作活動の場を提供し、障がいを持つ方々の自立した日常生活を支援しています。美術展に向け目標を持ち努力し、笑い楽しみながら活動しています。そんな皆さんを紹介していきます。



竹内 ハル様

ひとつの作品をとても丁寧に大事に描いています。引き付けられます。



村山 千枝子様

繊細で可愛い花の絵が多いです。とても素敵です！



小柳 静枝様

日に日に腕が上がっています。いつも笑顔で楽しんで描いています。



太田 十一様

絵を描く事で、自分が元気で頑張っている事を伝えたい...と筆を動かしています。



中島 光子様

やわらかい色使いの作品に癒され、優しい気持ちになります。



吉野 美千代様

筆を持つと、あっという間に完成！夢のある楽しい作品ばかりです。

